

## 抗体とは？

抗体は体の中に細菌やウイルスなどの敵が入ったときに体内で製造される武器の一つです。抗体には IgA、IgE、IgM、IgG などの種類があります。

この中でコロナウイルスに関係のあるのは、IgM と IgG です。

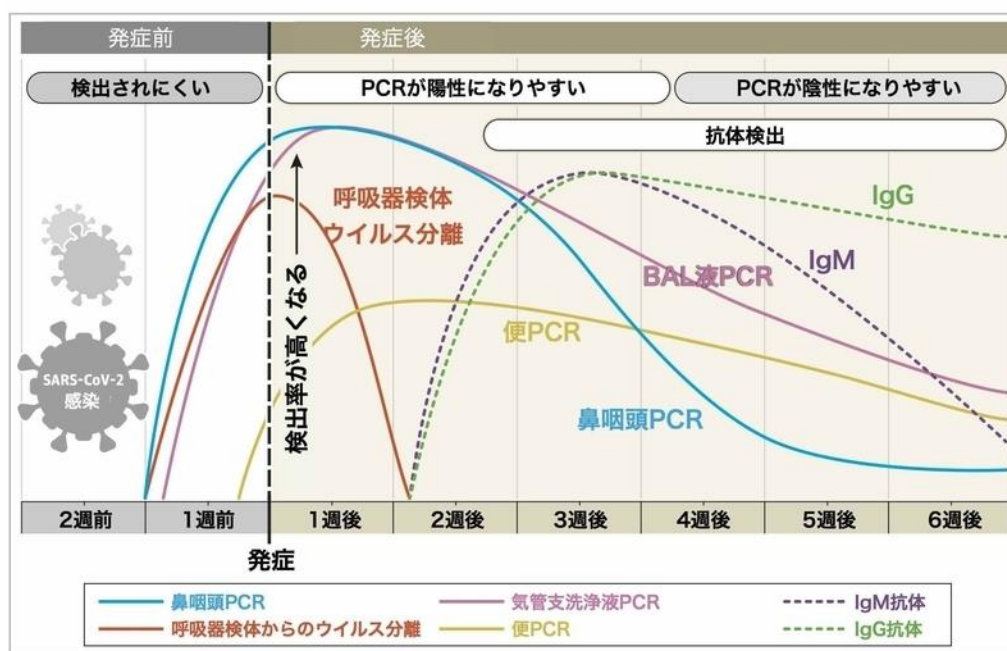
体内にコロナウイルスが入ると一週間程度で IgM が製造され、3 週間もすれば IgG も製造されると言われています。IgM は体内からいずれ消えてしまいますが、IgG は長いこと体内に留まると考えられています。永久に留まるかはまだわかっていません。

風疹や麻疹などのワクチンを打って免疫をつけるというのは、IgG を体内で作ることを目的としています。

ただ、コロナウイルスの抗体に関して、まだわからないことが多く、IgG があればコロナウイルスにかからないのかはわかりません。

インフルエンザのように、異なるタイプ（型）のコロナウイルスが流行した場合には、力が発揮できない可能性があります。

抗体検査キットも様々な会社が発売しています。関東を中心としたクリニックでは、その場でわかる抗体検査を行っている施設が多いですが、当院では検体を検査センターに送って抗体の有無を検査するため 3～4 日間は検査期間を要します。



発症からの日数と PCR 検査、抗体検査、ウイルス分離の陽性率 (doi:10.1001/jama.2020.8259 より)

IgG 抗体が陽性だった場合：どこかのタイミングでコロナウイルスに感染していた可能性があります。周囲で感染者が増えていなければ、あなたの感染対策はある程度有効であったと考えられます。

IgG 抗体が陰性だった場合：手洗いやマスクなどで侵入を予防できていたと解釈できます。今後も気を抜かずに感染対策を行きましょう。